## ⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

#### 昭61 - 187884 ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

@Int\_Cl.4

庁内整理番号 識別記号

❸公開 昭和61年(1986)8月21日

A 63 F 9/22

K-8102-2C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

ポーカーマシンのオツズ表示器 母発明の名称

> 願 昭61-838 ②特

願 昭61(1986)1月8日 29出

優先権主張

②1985年2月14日③オーストラリア(AU)③PC9280

フィリツプ 明者 勿発

オーストラリア国ニユー サウス ウエールズ,ボウクル

ーズ, デービス アベニユー 8

クラウチ

オーストラリア国ニユー サウス ウエールズ, ローズベ

エインズワース ノミ ニーズ プロプライエ

リィ, ダニング アベニユー 85-113

タリイ リミテツド

外2名 何代 理 人 弁理士 浅 村

明

1. 発明の名称

创出

ポーカーマシンのオツズ表示器

#### 2. 特許薪氷の範囲

(1) ポーカニマシンのオツス表示器において、あ る賞獲得組合せに対して与えられる賞を領域する 比率をそれぞれ示す複数個の相互に離問した標識 をそれぞれに担持する複数個の軸方向に配置され たパンドを有するシリンダを備え、各該パンド上 の1つずつの該比率が1つのコラム状の概並びあ るいは機並びに該マシンの前面の表示窓から表示 ・されるようにされ、また該マシンの前面に、その 表示される比率が現われる各位置に対向する位置 にそれぞれ1つまたは複数個置かれる賞獲得概合 せのリスト、及び、ある組合せができたことに対 し該パンド上のいずれかの比率が表示されたとき に与えられる賞の表が備えられ、そしてまた表示 される比率を変更できるように該シリンダを回転 させるための装置を備えたオツズ表示器。

特許請求の範囲第1項のオツズ表示器におい

て、該シリンダ複数個の別々のドラムで作られ、 各該ドラムが該パンドを1つずつ担持する、オツ

(3) 特許請求の範囲第1項のオツズ表示器におい て、該シリンダが垂直方向に延在し、該シリンダ の一方の蟷螂にシリンダを回転させるステツブモ 一 タ が 備 え ら れ 、 ま た 該 シ リ ン ダ の 回 転 位 纜 を 表 示する装置が該シリンダに担持される、オツス表 示器。

#### 3. 発明の詳細な説明

イ、産業上の利用分野

本発明は、ポーカーマシン、スロツトマシン、 フルーツマシン等として知られている種類の遊戲 マシン(以下、ポーカーマシンと称す)のオツズ 表示器、即ち、ある特定の賞獲得租合せを作るた めのオツズ、従つて1回のハンドルブルまたはゲ ームによつて該特定組合せを作ることで獲得でき る貸の大きさを表示するための装置に関する。

ロ、従来の技術

周知のようにポーカーマシンは水平軸心周りで

### 特開昭 61-187884 (3)

抜パネルの頂部に5つのシンボルが揃った組合せに対して与えられる質が示される。このパネルは5リールマシン用のものであり、そこで5つのエースには500ユニットの質が与えられるようにされている。この特定の構成において、それら特別の組合せに対する質は不変であり、オツス表示器に表示される比率に応じて変えられるということはない。

表示窓16の両側に、賞獲得組合せとこれらに対するオツズとを示す表が展示されている。この表の優を関と最右側のコラムにはある数の可能な組合せ、例えば4つのジョーカー、4つのエース等が示され、そして表の本体には、ある組合せにより、オツズ表示窓に現われた比率に応じすーカーの組合せに対し、もし1:1(イーブン)になる。しかし10:1の比率が表示されれば、賞は1000ユニットになる。

ること、即ちあるランダムなマシンの支払いを調節することにより、所定期間の最終時における実際上の収入と理論上の収入との間の差を少なくすることができる。

オツズ表示器が自由回転するにせよ、あるいは 初御されるにせよ、その操作は、例えばジヤツク のような出現頻度のより高いシンボルを一時的に ジャツクボツトシンボルにすることができるよう に構成されよう。

通常のゲームに対するオツズ表示器の回転が開始されるまでの期間は様々な方式で決められるが、 その2つの方式を下記に挙げる。

(1) マシンのハンドルが引かれたときオツズ表示器の回転が開始され、そして1つまたはその他のリール、例えば最後のリールが回転を停止したときオツズ表示器の回転が停止される。

② ハンドルを引いた度ごとにオツズ表示器が 停止されて次の比率コラムが表示器にもつてこら れるようにもできる。

ディスク 1 3 と光源 1 4 と光電池 1 5 とはステ

表の底部にはより小さい質が表される。例えば 左側リール上の1つのナインは2ユニツトの賞に なる。これらも、前記大きい質の場合と同様に不 変である。

第1段に示されるオツズリールの操作は多様な いろいろな方法で行うことができる。例えばリー ルをランダムに回転及び停止させるようにしても よい。しかし好適には、乱数発生器によつて、あ るいは1つのハンドルナルと次のハンドルブルと の間の時間長によつて制御されるステツブモータ で操作される。だがその他の方法による制御も可 能である。オツスリールは機械的なキツク機構の 提作によって自由運転させることもできる。オツ スリール組立体の停止はランダムにではなく**初**郷 して行うのが好適である。この場合、ステツブモ タで可能になるプレプログラミングされた一連 の停止位置がマイクロプロセツサのメモリー内に 記憶され、そして必要であれば所要の時々に変更 できるようにされよう。制御された停止が採用さ れる場合、マシンのパーセンテージ変化を修正す

更にまた、計数を行うのではなく、少なくとも3つの光電池の組合せで各位鍵に対する個別のコードを作るような方式にしてもよい。これによれば、支払い前のパルス発生後の位置をマイクロプロセツサで比較できるから、静止リールをいじる

# 特開昭 61-187884 (5)

	A A A 10 10 10 10 9 9 9 9	99	5000 500 500 500	16 )	フ <sub>ロ</sub> K Q J	Jo Jo K	70 70 KQ 1	10 000 2000 1 500 1000	
説明ライン上のもの	EVEN 2.			机花花	10.1 5.1	4.1 3	1.1 2.1	EYEN照明ラ	イン上のもの
Jo Jo Jo	í I	í l'	5000 10000	11 5.7 1	10000 5000 2000 1000		1 1	. 1	To To To To To To
A A A A -	i	1 1	2500 5000 500 1000	EVEN	5000 2500	1 1	- 1		A A A A A A
K K K K -		600 B00	1000 2000	2.1	2000 1000 200 100	] ]	00 400	200 - K	K K K
9 9 9 9 -	150 300	450 600	750 1500	10.1	1500 750	600 4	50 300	150 - Q	000
J J J J =	15 30	I	75 150 500 1000	EVEN	150 75 1000 500	400 3	00 200	15 100 - J	7 1 1.
10 10 10 10 -		30 40 150 200	50 100 250 500		500 50 500 250	-	50 100	50 - 10	J J J
10 10 10	10 20	30 40	50 100	3.1	100 50	40 3	30 20	10	10 10 10
9999-	50 100 10 20	150 200 30 40	250 500 50 100	EVEN	500 250 100 50	200 15 40 3	1 1	50 - 9 10	999
7777-	50 100 10 20		250 500 50 100	2.1	500 250 100 50	200 15 40 3		50 - 7 10	777
9 – – – –	 2	10 – – -	- <u>-</u>	99	- 16 - 5	10 10		<del> </del>	FIG.2
9	2		-102	9	95		- 10	_	